

2021
2・15

月4回
月曜日発行

第1186号

週刊ビル経営

ビルの外壁や屋上に取り付けられた屋外看板。なかでも建物に沿って縦長に並んだいくつもの袖看板は、日本のビル街の代表的な景色として定着しています。屋外看板はビルに入居しているテナントを案内するだけでなく、貸し看板として広く運用すれば収入を得ることができます。うすが、実はリスクも潜んでいます。例えば前述の袖看板。突き出しがあるとおしゃり、街路の上に突き出して取り付けられています。ときどきニュースでも目にしますが、適切な管理を怠ると下の街路を通る人に危害を与えるかもしれません。また台風の接近

ます。袖看板は下から見ると結構な大きさで、実際は建物から1mにたまつた水が漏れて通行人を濡らしてしまったという例もあります。見た目では頑丈に見え、実際は結構なサイズです。法令では建物に取り付けられていても、思わぬ被害を発生させる可能性もあるのです。

ビルの外壁や屋上に取り付けられた屋外看板。なかでも建物に沿って縦長に並んだいくつもの袖看板は、日本のビル街の代表的な景色として定着しています。屋外看板はビルに入居しているテナントを案内するだけでなく、貸し看板として広く運用すれば収入を得ることができます。うすが、実はリスクも潜んでいます。たとえば、実はリスクも潜んでいるのです。

袖看板は、テナントの入れ替わりのたびに更新しなければなりません。看板の製作だけではなく取り付け作業にも度コストがかかります。なるべく運用コストを抑えたうえで、何かあつた場合の責任は最終的には建物オーナーが負わなければなりません。袖看板を見かけなくなりました。

袖看板の運用方法にも良いとされています。特に入居テナントを案内する袖看板は、テナントの入れ替わりのたびに更新しなければなりません。看板の製作だけではなく取り付け作業にも度コストがかかります。なるべく運用コストを抑えたうえで、何かあつた場合の責任は最終的には建物オーナーが負わなければなりません。袖看板を見かけなくなりました。

イーソーコ総合研究所
代表取締役 出村 亜希子
奈良女子大学大学院修了後CM会社を経て現職。一級建築士、宅建士。「倉庫ドクター」として建築面からオーナー支援に取り組む。



ソーコに学ぶ ビル経営

第34回「看板は大丈夫?」

袖看板の管理には、緊張感をもってあたりたいものです。袖看板の管理には、定期的な点検です。ゆがんでいないか、色あせていいか、色あせていいか、ライトは切れていません。といった看板が、安全性能にも関わる課題を少しでも解決していきたい。そんなん思いながら、2月1日にイーソーコグループで設立した合弁会社では、看板の点検・管理・更新も請け負うことになりました。看板の他、付随する電気などを整備し、物流ユーティリティードライバーがセールスドライバーとして走り回ります。配送だけでなく、ビルのお困りごともすぐに解決する。そんな存在に決する。そんな存在になればと考えています。

大切な管理を怠ると下の街路を通る人に危害を及ぼすことがあります。アクリル部分が、安全性能にも関わる課題を少しでも解決していきたい。そんなん思いながら、2月1日にイーソーコグループで設立した合弁会社では、看板の点検・管理・更新も請け負うことになりました。看板の他、付随する電気などを整備し、物流ユーティリティードライバーがセールスドライバーとして走り回ります。配送だけでなく、ビルのお困りごともすぐに解決する。そんな存在になればと考えています。